

東日本大震災ボランティア活動を応援します

小池嘉夫

1964年 クリーブランド

先般、被災地宮城県岩沼市への支援活動に力を尽しておられる兵庫県社協の小林 茂さんとメールを交換してとても元気づけられました。私自身何事も出来ませんが基本的方針に基づいてボランティア・センターの設立と活動強化のために支援活動を続けておられることを知って大変嬉しく思いました。お忙しいなか心身のご負担もあるでしょうに、細かなレポートだけでなく私の愚問にも丁寧に答えてくださり、とても誠実な方がCIFのメンバーにおられるので本当に嬉しくなりました。「岩沼に人々の関心を寄せていただくのは難しいだろうから、その分自分が頑張ってい

かなければ……」と言っておられましたが、最近の朝日新聞によれば実に強力な支援者（東大大学院教授・都市工学専門。3年前の四川大地震における都市復興のランドデザインを考えるエッセンスとして『都市と農村の共生』を提案。復興の過程をつぶさに体験。現在は岩沼市復興会議の議長）が現われた、とのこと。身の丈に合った安全な町づくり。東京のNPOとともに畑の塩分を逆手にとった塩トマトの栽培も始めた、とのこと。教授が被災地岩沼市の出身ということも運を運んでいるのでしょうか、大学と被災地岩沼のみなさんが手を携えて復興に向かうという手法に民意主導を感じ、ここに行政の執行力をくわえれば新しい手法として希望がもてるではありませんか。（7月1日、東京都在住）

今、被災地では復興のスピードに格差がでています

小林 茂

1997年 デンバー

今、被災地では復興のスピードに格差が出ています。

兵庫県社協は今は気仙沼市災害ボランティアセンターに力を入れ、支援しています。震災直後には、兵庫県社協は、岩沼市、石巻市、南三陸、気仙沼市と多方面を担っていました。（県内社協では独自に山元町、名取市、仙台市にも入っていました。）岩沼市社協に関しては（宮城県南部）では、がれき処理が進み、ボランティアによる泥出しも峠を越し、また、仮設住宅にもほとんど入居されており、文字通り次のステージに移っています。そして、岩沼が典型のように、ボランティアも市行政も着実に前進しているようです。それに対して県北部（気仙沼市、石巻市、南三陸町）ではがれき処理も進まず、町の衛生状況も良くあ

りません。未だ避難所にいる方もおり、仮設住宅への移行も思うように進まないようです。

復興の基本は行政に負うところが大きいのですが、ご存知のように国、県の取り組みの遅さが大きな影響を与えています。私個人は岩沼への思いが強いのですが、被災地全体を見て、このままで良いのだろうかという歯がゆさを感じつつ、復興の主役である地元の意思に寄り添うべきとの思いもあります。（阪神淡路大震災の経験から外部がゴチャゴチャいうパターンは確な事が起きません。）ただ、忘れてはいけないのは、地元へ寄り添うといっても社会的弱者に陥りやすい障害者、高齢者等への命にかかわることは、出しゃばる必要があることです。私たち福祉に携わる者は、この点を忘れず被災者支援を続けていきたいと思えます。（7月19日、兵庫県社会福祉協議会事務局次長、兵庫県在住）

認知症高齢者施設「つばき園」訪問記

報告者 坂本 正路
1971 コロンバス

このたび、青木秀美さん（1972年 リッチモンド）をお訪ねする機会がありました。大河ドラマの舞台になった新潟県南魚沼市の「雲洞庵」のすぐ近くで老人のための事業を行っておられます。二階建ての施設は2階部分が9名定員のグループホームで、1階部分が12名定員のデイサービスとなっていました。2階部分に居室、厨房と浴室（ユニットバス）がありますが、1階部分には大きい浴槽と特殊浴機械があつて、それを上下の施設が効率よく利用しあっていました。



青木さんはお寺の家庭に育たれたのですが、東京に出て大學を目指しているときに、人生について思い巡らし、教会を訪ねたことがキッカケでクリスチャンとなり、東京都福祉局定年退職後、故郷に帰ってもその信仰の上に立ったボランティア活動や老人福祉活動を続けてこられました。



青木さんは20年前に、まず児童のための「塩沢自由学校」を始められ、その後この活動に加えて地域の認知症高齢者のための施設の需要の高まりに応じて、5年前に認知症高齢者福祉施設を立ち上げたのです。施設の隣りに青木さんの自宅があるので、施設とのつながりも深く、利用者のお年寄りとお話される姿が印象的でした。

（神奈川県在住）

《 大会マーケット 寄贈品 募集 !! 》

今年のキプロス大会の「マーケット」に出店したいと思います。収益は参加困難者の旅費補助に当てられます。皆様のご家庭に軽量のおみやげ物、飾り物、日用品、小型の日章旗等がありましたら下記までお送りください。締め切りは8月20日といたします。

〒252-0302 相模原市南区上鶴間 7-9-2-305 坂本 正路宛 （問合せ先 090-5449-8824）

会費をお振込み願います

NPO 法人化記念寄付にもご協力ください

郵便振込 00270-4-54121 CIF ジャパン

または 三井住友銀行八王子支店(普)781513

6 CIF ジャパン出納責任者 梶村慎吾

（会費年3000円、記念寄付1口1000円）

本紙(ニューズレター No.26)目次

NPO法人として第一歩の年	p. 1
2011年度総会開催	1
CIFスコットランド研修報告会	4
「CIF」との良き出会い	6
東日本ボランティア活動を応援します	7
「つばき園」訪問記	8
[添付] 2011年度総会議事録	

特定非営利活動法人 CIF ジャパン 事務所住所 607-8216 京都市山科区勸衆寺東出町 75 番地からしだね館

ホームページ <http://cif-japan.papnet.jp>

E-メール cifjapan08@gmail.com

TEL:075-574-2800